

# 人間関係講座（コミュニケーション）第95回 [秋]

## -グループの中での人間関係の理解のために- 基礎コース

担当者	楠本 和彦（南山大学人文学部心理人間学科教授） 伊東 留美（南山大学短期大学部英語科講師）
概要	<p>この講座は、「体験学習」という方法を用いて、楽しく参加しながら人間関係の主要領域についての理論と実際を同時に学びます。更に人間関係に関して自分自身の在り方に気づき、成長の手がかりをつかみ実践していくことを目指しています。ここでは、特に“自己理解と対人コミュニケーション”に焦点を当てて進めていきます。</p> <p>この講座は、以下の3つの分野について学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①自分自身の価値観・性格・興味など、自己理解を深めること</li><li>②話したり聴いたりする時の自分の特徴に気づき、話す・聴くというコミュニケーション能力を高めること</li><li>③対人関係における感情の重要性に気づき、感情表現の多様性と幅を広げる</li></ol> <p>ご自分についてより深く知りたいという方、日常や仕事上でのコミュニケーションで相手の話をよりよく聴けるようになりたいという方など、さまざまな方にお勧めです。なお、今年度の本講座は、遠隔地からもご参加いただけるように、土日の2日間で実施されます。</p>
日程	2014年11月8日（土） 10：00～18：00 11月9日（日） 9：00～17：00 土日集中
定員	各30名
会場	南山大学 D棟 D51教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 伊東 留美 記</p> <p>2014年11月8日（土）9日（日）の2日間、第95回人間関係講座（コミュニケーション）が開催されました。担当者は楠本先生と私（伊東）で、参加者は30名でした。私は、本講座の担当をさせていただき3年目となりますが、日常におけるコミュニケーションについて問題意識や課題を持っておられる受講生が多く、この講座に対するモチベーションの高さや学びの態度などが授業の実習やふりかえりのコメントなどからも感じ取れます。今回も、受講生の方々のコメントや質問から、私自身もはっと考えさせられることが多くありました。</p> <p>今年度は学生さんの参加もあり、社会人と学生が共に学びを深め合う中で、よい刺激が両者にあったように思えました。具体的には、「はなす・みる・きく」の実習の際、全体のわかちあいである学生さんが、「私たちは皆それぞれ自分の辞書を持っていて、自分と相手の辞書は違う」とコメントされました。その例え方がわかりやすかったのか、その後他の受講生の方、講師の我々も、「辞書」という表現を用いてコミュニケーションプロセスの体験を語り、説明したりしました。この講座の中で、参加者皆が自分自身の「辞書」の存在を認識し、その中のことばの意味を見直す機会を得たのかなと思いました。的確なことばを用いることもできる一方、このような例えを用いることで、周りの共感が高まったりするのだなあと思いました。2日目の「セルフボックス」は、まさにそうした例えで自分を表現する時間となりました。ことばで自身を語るのではなく、何かにモノやカタチ（イメージ）で例えてみることで、ことばとして表現することが困難なことも表現されたのかと思います。そして、それを自分の「辞書」を用いて語ることで、相手の「辞書」をより理解することにもなったようです。皆さん、出来上がった作品を熱心に鑑賞される姿が印象的でした。</p> <p>それぞれの「辞書」にあることばの意味が同じではないということ、一方でお互いがそれを意識して相手の「辞書」に関心を持ってきていくことで、相手のことばの意味が理解でき、相手も受容されたと感じるができること。2日間の講座の中で、私自身がこのことを改めて実感することができました。</p> <p>ありがとうございました！</p>